

事業番号	09 06 04	<b>事業改善シート（令和3年度実施事業分）</b>			<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	農村地域の防災減災対策事業	部局	農政部	課・室	農地整備課			
		実施期間	S35 ~	E-mail	nochi@pref.nagano.lg.jp			
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)								
8つの重点目標								
総合的に展開する重点政策	4-1 県土の強靱化							

## 1 現状と課題

目指す姿 これまでの取組	<b>【目指す姿】</b> 機能低下した地すべり防止施設や排水機場のポンプ設備、耐震性不足が確認されたため池等の整備を行うハード対策に加え、ため池ハザードマップの作成など災害時の被害を最小化するソフト対策を一体的に進め、農村地域の安全を確保する。				
	<b>【これまでの取組】</b> ハード対策：地すべり防止施設・排水機場のポンプ設備の更新を計画的に実施 耐震性不足が確認されたため池の耐震化工事を計画的に実施 ソフト対策：市町村が行うため池ハザードマップの作成支援とカメラによる監視体制の強化				
令和2年度 点検結果 (令和元年度 実施事業分) 現状分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th>課 題</th> <th>今後の方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地すべり防止施設の長寿命化計画策定が、令和2年度までに完了するため、計画的に長寿命化工事を実施する必要がある。  地震や豪雨に対する安全性が確保されていないため池や排水機場の整備など、継続した防災・減災対策が求められている。</td> <td>地すべり防止施設の長寿命化、ため池の耐震化・豪雨対策、排水機場の更新整備など、国庫補助事業を活用して、迅速かつ計画的に防災・減災対策を進める。  緊急時の迅速な避難行動につなげる対策（ソフト対策）と施設機能の適切な維持、補強に向けた対策（ハード対策）を一体的に進める。</td> </tr> </tbody> </table>	課 題	今後の方向性	地すべり防止施設の長寿命化計画策定が、令和2年度までに完了するため、計画的に長寿命化工事を実施する必要がある。  地震や豪雨に対する安全性が確保されていないため池や排水機場の整備など、継続した防災・減災対策が求められている。	地すべり防止施設の長寿命化、ため池の耐震化・豪雨対策、排水機場の更新整備など、国庫補助事業を活用して、迅速かつ計画的に防災・減災対策を進める。  緊急時の迅速な避難行動につなげる対策（ソフト対策）と施設機能の適切な維持、補強に向けた対策（ハード対策）を一体的に進める。
課 題	今後の方向性				
地すべり防止施設の長寿命化計画策定が、令和2年度までに完了するため、計画的に長寿命化工事を実施する必要がある。  地震や豪雨に対する安全性が確保されていないため池や排水機場の整備など、継続した防災・減災対策が求められている。	地すべり防止施設の長寿命化、ため池の耐震化・豪雨対策、排水機場の更新整備など、国庫補助事業を活用して、迅速かつ計画的に防災・減災対策を進める。  緊急時の迅速な避難行動につなげる対策（ソフト対策）と施設機能の適切な維持、補強に向けた対策（ハード対策）を一体的に進める。				

## 2 令和3年度事業内容

補正予算のポイント・主な取組(予定)	 <p>中曾倉地区（駒ヶ根市） 水田の上部で発生した地すべり</p>	 <p>冠頭部に発生した亀裂 (段差約40cm)</p>
	○ 9月上旬の大雨により、農政部所管の地すべり防止区域内で地すべりが発生し、住宅や農地への被害拡大を防止するため、緊急に対策工事を実施（伊那市、駒ヶ根市）	

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]							区分(単位:千円)					
No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度末	R3年度 目標値		事業 コスト	R1年度	R2年度	R3年度		
1	地すべり防止施設長寿命化対策の着工区域数(区域)	-	4	↑	7	↑		10	前年度繰越	2,311,776	3,058,654	5,175,781
2	ため池の耐震化工事の完了箇所数(か所)	13	16	↑	23	↑		26	当初予算	3,631,988	4,473,455	3,016,440
3	ため池ハザードマップの作成箇所数(か所)	160	173	↑	502	↑		600	補正予算	1,007,150	2,211,423	97,000
4									合計(A)	6,950,914	9,743,532	8,289,221
5									うち一般財源	290,929	296,723	229,565
								決算額(B)	3,869,948	4,566,414		
								職員数(人)	46.23	44.11	45.26	
成果指標 設定理由	<p>①地すべり防止施設の長寿命化計画の策定が令和2年度までに完了し、その計画に基づき、令和3年度に工事着工予定の区域数（累計）を成果指標に設定した。</p> <p>②農村地域の安全を確保するため、耐震性不足が確認されたため池37か所の耐震化工事を、令和5年度までに完了させることを目標とした完了箇所数（累計）を成果指標に設定した。</p> <p>③減災対策として地域防災力を向上させるため、市町村におけるため池ハザードマップの作成箇所数（累計）を成果指標に設定した。</p>											

事業番号	09 06 04	事業改善シート（令和3年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	農村地域の防災減災対策事業			部局	農政部	課・室	農地整備課	

細事業 No.	細事業名	R1年度 最終予算		R2年度 最終予算		R3年度 予算	
		計	千円	計	千円	計	千円
1	農村地域の防災減災対策事業					当初予算	3,016,440
						補正予算	97,000
		計	4,639,138	計	6,684,878	計	3,113,440
			千円		千円		千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	地すべり対策事業	直接	地すべり防止区域内で実施する地すべり防止対策・地すべり防止施設長寿命化対策（15地区）
2	県営農村地域防災減災事業	直接	ため池、用排水路等の補強・耐震化、石綿管の撤去・更新（51地区）
3	団体営農村地域防災減災事業	補助金	防災減災対策のための調査及び計画策定への支援（19地区） ため池の廃止、用排水路等の補強（8地区）
4	県単緊急農地防災事業	直接	農業用施設の緊急対策（20か所）
5	県単農地地すべり対策事業	直接	緊急的な地すべり対策・調査、地すべり防止施設の補修（10か所）
6	県単地すべり防止施設等管理事業	委託	地すべり防止区域における巡視等の管理委託（135区域）
7	地すべり防止区域管理強化事業	直接	地すべり防止区域の標識・標柱の更新（62区域） 無人航空機操作技術講習（15名）
8	農業関係災害復旧の調査・検証事業	直接	令和元年東日本台風災害の被災・復旧状況等をまとめた記録誌の作成